

技術力と商品企画力で新商品開発

足高メリヤス株式会社 奈良県葛城市

「ニットは伸び縮みするもの」。そんな常識を破って「伸びないニット」を開発、ビジネス化したのが、奈良県葛城市にある足高メリヤス株式会社である。

インナーウェアやソックスなどのニットは伸び縮みするから体に優しくフィットし、同時に快適な着心地、履き心地感が得られる。しかし、同社は「伸び縮みする部分」と「伸び縮みにくい部分」に加えて「まったく伸び縮みしない部分」を同じ工程で編み立てたニットを開発し、主としてインナー業界・スポーツ業界に対して、企画提案型の販売を行っている。

近年、健康意識の高まりから、ウォーキング人口やジョギング・ランニング人口が着実に増加し、高負荷・過運動抑制や筋肉疲労の軽減のための着圧機能性タイツ（サポートタイツ）の需要が伸びている。また、日常的に美にこだわる女性やメタボリックシンドローム予備軍の男性向けのスタイルアップ機能のあるインナーやボトムアンダーなども同様の傾向にある。

これまで、これらの商品は以下のような方法で、「部分的な着圧機能」を発揮できるようにしていた。

- ①伸縮度の違う生地を、あて布・縫い合わせすることで部分的伸縮強度を強める
- ②伸縮しにくい素材を使い多重編みすることで伸縮しない部分を形成する

しかし、これらの方法では「あて布・縫い合わせに高度な縫製技術が必要で、生産が非効率になる」「生地の縫い合わせは不良率が高く、デザイン面でも制約を受ける」「多重編みでは着圧機能に限界がある」などの問題点があった。

そこで同社が開発した「伸びないニット」は、6フィラメントという「熱溶融着糸」を従来と同じ編み立て工程の中で表糸と裏糸の間に編み込み、その後の熱加工工程で熱溶着させて伸びない部分を形成することで、これらの問題をクリアした。



左は「伸びないニット」の表面、中央は同断面（赤丸部分は溶けて固まった熱溶融着糸）、右は商品化されたサポートタイツ

この技術を活用した商品には次のような特徴やメリットがある。

- ①非伸縮部分に縫製加工を施していないため、不良率が低く割安で製造できる
- ②強力な非伸縮機能がありスタイルアップ機能や矯正・ガード機能が発揮できる
- ③従来にないデザイン性に富んだ商品開発が可能となる

同社は1950年創業以来、主として大手アパレルメーカーを取引先に、靴下、タイツの製造販売を行ってきた。商品企画や受注を大手アパレルメーカーに頼る不安定な経営から脱するため、同社は約7年前から主体的な事業経営への変革を目指してデザイナーを採用。さらに、従来からのタイツ・靴下に加えてインナーにも取り組むとともに、取引先に売り込みを図る商品提案力の強化を進めてきた。

今回、これまで同社が培ってきた技術力や商品提案力を活かして「伸びないニット」を開発したことで、機能性を持つサポートタイツやインナーなど高付加価値商品の展開が可能になった。安価な輸入品に押され苦戦が続く靴下業界で、一つの生き残りのお手本がここに示されている。

(井阪 英夫)



足高メリヤス株式会社

〒639-2146 奈良県葛城市中戸 389
TEL: 0745-69-2451 FAX: 0745-69-2455
URL: <http://www.ashitaka.co.jp/>